

子ども読書活動推進計画の策定を

質問

ある自治体が、成人式で新成人に本を贈る試みを始めた。最近では活字離れといつて、特に若い人が本や新聞などを読むことが苦手、あるいは嫌いという人がふえているように、やはり子どもものから良書に親しむ読書習慣が大切だと言われている。

現在、本市は子どもたちの読書活動を推進するための計画が未策定である。国民読書の本年であるので、早急に子ども読書活動推進計画を策定し、読書活動の推進に取り組むべきだと考えるが見解は。



小沢照子 議員

教育部長

質問のとおり、未策定である。

子どもの読書活動の推進に関する法律では、目的、基本理念で、「子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。また、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」となっている。

計画の作成については、「計画を策定するよう努めなければならない」となっている。

質問

ぜひとも22年度中には策定をしてほしいが。

教育部長

心して聞いておく。

本を読もう



質問

人生の節目の、例えば誕生、成人式、敬老会などのお祝いに、市民の皆さんに本の贈呈を提案したいが。

教育部長

中央図書館、佐織図書館では、毎年、本のリサイクル配布を行っている、市民の方々に活用をしてもらっている。

行政改革の実績と今後の計画は

質問

市長が、これまでの5年間で実施した行政改革は。

市長

上下水道などの料金体系の見直し、組織・機構の見直し、本庁舎のあり方の見直し、あるいは職員の意識改革などは続けていかなくはいい。

市長

行政評価システムの構築、指定管理制度、PFI手法の導入、パブリックコメント制度、市民会議の設置、あいさい出前講座、各種補助金の見直し、保育料、水道料、介護保険料などの見直し、職員の勤務体系、組織・機構の意識改革もあわせての導入をした。

その他の質問

・ごみ袋販売価格の値下げを
・立田ふれあいの里の現状は

質問

任期中のあと3年間にぜひとも改革したいものは。